

TOP > コラム

赤ちゃんが大きすぎる（巨大児）といわれたら？

2024.03.12

#妊娠中のトラブル



富永愛法律事務所 医師・弁護士 富永 愛 です。
司法試験に合格し、弁護士事務所での経験を積んだ後、国立大医学部を卒業し医師免許を取得。
外科医としての勤務を経て、医療過誤専門の法律事務所を立ち上げました。
実際に産婦人科の医療現場を経験した医師として、法律と医学の両方の視点から産科を中心とした医療問題について発信します。
出産のトラブルでお困りの方は、是非一度お問い合わせください。

巨大児とは

見た目には異常がなく、また生まれたときの週数にも関係なく、出生体重が4,000g以上の赤ちゃんのことをいいます（4,500g以上の場合は超巨大児といいます）。

原因

原因としては、遺伝因子と子宮内環境といわれています。巨大児は対称性巨大児と非対称性巨大児の2つに分類されます。

対称性巨大児は、お父さんやお母さんの遺伝的な結果で生じるものです。正常な子宮内環境下で发育するタイプで、赤ちゃんが大きい以外に異常はみとめられません。

非対称性巨大児は、お母さんが糖尿病や妊娠糖尿病など、何らかの糖尿病にかかっている場合が多く、血糖コントロールが万全でないケースに多く起こります。お母さんが高血糖な場合、胎盤を通して多量のブドウ糖が赤ちゃんに移行するため、赤ちゃんは血糖調節のためインスリンホルモンを多量に分泌して、これが体重増加に関係して巨大児になるといわれています。呼吸不全や心臓、肝臓、肺など内臓に腫大が多く見られるため、お母さんに糖尿病がある場合には十分に注意する必要があります。対称性に比べて非対称性の方が高リスクで、新生児に何らかの症状が出やすいことも特徴です。

赤ちゃんが大きいことによるリスク

巨大児の場合、分娩に時間がかかるなどの難産になりやすいだけでなく、会陰裂傷や産後出血などの合併症も起こりやすくなります。また肩甲難産（赤ちゃんの肩がお母さんの骨盤の一部に引っかかってしまって出てきてくれなくなる）も多く起こり、赤ちゃんに頰骨骨折や腕神経叢損傷（わんしんけいそうぜんしょう）なども生じることが多いので、高リスクな出産となります。そのため巨大児であることがわかっていれば事前に帝王切開での分娩を選択することもあります。

状況に応じた管理が必要です

巨大児の予防にはお母さんの妊娠中血糖のコントロールが重要で、食事療法や運動も大切です。しかし、お母さんの病状によっては、運動を控える必要があるケースも有るので、主治医の指示に従って糖尿病の管理をする必要があります。

前へ

次へ



LINEでご質問・お問い合わせを受付しています。QRコードまたは以下のリンクから公式アカウントより、産科・出産トラブルで分からないことや相談したいことがありましたら、トークルームにお気軽にお問い合わせください。メッセージをお待ちしています。ご利用は無料です。
<https://lin.ee/3B0ot8A>



この記事を書いた人（プロフィール）

富永愛法律事務所

医師・弁護士 富永 愛（大阪弁護士会所属）

弁護士事務所に勤務後、国立大学医学部を卒業。

外科医としての経験を活かし、医事紛争で弱い立場にある患者様やご遺族のために、医療専門の法律事務所を設立。

医療と法律の架け橋になればと思っています。

[一覧に戻る](#) >



弁護士法人富永愛法律事務所

産科医療LABO [医療過誤](#) [医療事故](#)

弁護士法人富永愛法律事務所

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町11番20号

第2領家ビル401号

tel.072-682-6233

- 産科医療LABOについて

> 産科医療LABOについて

> ご挨拶・弁護士紹介

> 事務所概要

> 医療顧問

- 産科医療補償制度とは

- 原因分析報告書とは

- 属性まひとは

- 妊娠・出産のトラブル

- 相談の流れ・費用

> 相談から解決までの流れ

> 費用

> Q & A

- 解決事例

- 判例

- コラム

- 弁護士向けサポート

- サイトマップ

- プライバシーポリシー

[相談のお申し込み](#) >



Copyright © SANKAIRYO LABO